



日頃よりの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

平成19年4月に初めて県政の場にお送りいただき、おかげさまで持ちまして今年で議員生活4期15年を務めることが出来ました。これもひとえに、皆さまからの長きにわたるご支援とご指導の賜物と、重ねて感謝申し上げます。

これからも初心忘れることなく、皆さまの「声」を形にする活動を「宮城を創る力」に変え、「県政のど真ん中」へ届けていき、政治を一步でも前に進めて参ります。

今後とも変わらぬご指導ご鞭撻、そして、皆さまの「声」を引き続き賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

宮城県議会議員(太白区) 佐々木 幸士

ウイズコロナ・アフターコロナへの歩み

未知のウイルスから
制御可能なウイルスの一つへ

新型コロナウイルス感染症対応資金

(実質無利子・無担保)

事業者 → 約18,000件

全国旅行支援

(10月11日~12月下旬)

新たなる
取組

北海道・東北6県から対象地域を全国に拡大

割引率	40パーセント
割引上限額 (1泊あたり)	交通付き旅行商品:8000円 それ以外:5000円
クーポン券	平日:3000円 休日:1000円

※最大支援額:1万1000円補助

県独自の経済対策のこれまでの実施状況

- 業況の悪化している事業所を支援する市町村への助成 → 90億円
- 飲食業や小売事業向けのキャッシュレス決済推進事業 → 11億円
- 県民宿泊割の需要喚起施策 → 162億円(約84万人)
- 中小企業の経営転換・販路拡大などの事業再構築支援事業 → 24億円(67件)
- 再起支援事業 → 53億円(4,797件)

海外からの入国者の上限撤廃

円安により海外観光需要の回復起爆剤の一つ



宮城県を選んでくれるインバウンド対策の強化

国際線復活へ 第一弾 仙台~台湾便(週3回)10月30日~



地域と共生した再生可能エネルギーの導入促進

森林開発再生可能エネルギー課税へ

新たなる
取組

新税導入に至る経緯

県内において再生可能エネルギー発電所計画をめぐる事業者と地元トラブルが相次いでいるが、許可基準を満たせば事業実施が可能であり、地方自治体の規制強化には限界がある。

「森林開発の再生エネルギー課税」(令和6年) ~2024年4月導入を目指す~

県内の森林を開発し、再生可能エネルギーの発電施設を設置する事業者に課税する条例を想定

課税対象 太陽光・風力・バイオマス発電施設を想定

その内容と狙い...

- 県独自の課税(例:みやぎ発展税みやぎ環境税など)
- 森林以外の適地に発電施設を誘導(課税で経済的負担を重くする)
- 既存施設には課税対象としない



土砂災害危険区域での規制や住民への事前説明の義務化、また、既存施設に対し維持管理計画の公表の義務化、県の立ち入り検査の拡充などを盛り込んだ「太陽光発電施設の設置に関する条例」制定や「環境影響評価条例」の改正が令和4年7月から施行されております。

新たなる取組として、森林開発再生可能エネルギー課税の議論がこれからスタートしていきます。

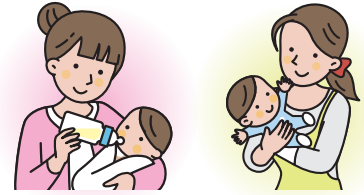


人口減少社会を見据えた宮城県の取組 ～子供子育て支援～

新・宮城の将来ビジョンに「社会全体で支える宮城の子供・子育て」新たな項目を加え強化

＼ 宮城県の合計特殊出生率(2021年) 1.15% ※全国46位 /

- ・ 合計特殊出生率を上げる …… 全国的に低い30歳以降の出生率を上げる!
- ・ 女性の人口社会増の実現 …… 女性に就職で宮城県に残ってもらう施策を強化!
- ・ 女性の働きやすい環境 …… 民の力を活用し、県全体で「子育ておせっかい」



宮城県 次世代育成基金(20億円) 政府 子ども家庭庁(令和5年4月～)

そのような中...「宮城県私立幼稚園PTA会長としても」私立幼稚園関連施策を充実!!

- 令和3年4月 宮城幼児教育センターの設置
- 令和3年12月 12月補正予算原油価格高騰対策 → 園児一人あたり2,500円を交付済み
- 令和4年度 当初予算 私立幼稚園運営補助金の1人あたりの予算単価を194,898円(前年対比7,926円増)
- 当初予算 新型コロナ対策 → 保健衛生購入費1園あたり上限額50万円補助
- 6月補正予算 新型コロナ対策 → 抗原検査キット(医療用)教職員1人あたり5回分を配布済み
- 6月補正予算 給食食材価格高騰対策 → 給食の形態に即した単価
- ※完全給食1食あたり40円・補食給食1食あたり5円・牛乳1食あたり2円
- 9月補正予算 原油価格高騰対策 → 園児一人あたり6,000円(令和4年度の12か月分)を補助

聴覚支援学校のこれからについて ～太白区八本松に設置～

聴覚支援学校高等部の学科再編 実施年度:令和6年4月～

学科改編の内容

改編前	専門学科4学級 (産業工芸科・機械システム科・被服科・理容科)
改編後	普通科・専門学科 (工業技術科・生活デザイン科)

学科改編後の各学科の目標 ※学科名は仮称	
普通科(新設)	基礎学力の向上(大学進学)
工業技術科(再編)	機械・電気・デザインについての基礎知識・技術の習得
生活デザイン科(再編)	衣食住・情報についての基礎知識や福祉・保育分野に必要な知識・技術の習得



課題 具体的な教育課程や必要な施設設備等をまとめた学科再編の基本方針を策定し、昭和40年代に建設された校舎・体育館・寄宿舎の改築が必要である。



令和7年度第48回 全国育樹祭宮城大会開催が決定 ※(公益法人)国土緑化推進機構との共催

令和3年2月代表質問にて

Q 宮城県では、全国植樹祭が過去に2度開催されているが「全国育樹祭」は開催されておらず海岸林の重要性を発信する観点から、誘致に取組むべきと思うがどうか。

A 村井知事答弁
県としては、全国豊かな海づくり大会の開催を契機に醸成された自然環境保全に対する機運の高まりを追い風として、令和7年度の第48回大会の開催を目指し、関係機関と協議していく。

宮城県議会議員 佐々木幸士事務所

〒982-0031 仙台市太白区泉崎1-33-10-111
TEL:304-5854 FAX:304-5853

佐々木幸士 |



是非ホームページをご覧ください。
<https://sasakikoshi.com/>

最新情報をリアルタイムで発信中!



Facebook



Twitter



Instagram



よろしく
お願い
します!!